

様式第9

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
山元町	山元町	平成23年度～平成27年度	平成23年度～平成27年度

1 目標の達成状況

(ごみ処理)

指 標		現状 (割合※1) (平成 年度)	目標 (割合※1) (平成 年度) A	実績 (割合※1) (平成 年度) B	実績 B/ 目標A※2
排出量	事業系 総排出量	t	t (%)	t (%)	%
	1事業所当たりの排出量	t	t (%)	t (%)	%
	生活系 総排出量	t	t (%)	t (%)	%
	1人当たりの排出量	kg/人	kg/人 (%)	kg/人 (%)	%
合 計 事業系生活系総排出量合計		t	t (%)	t (%)	%
再生利用量	直接資源化量	t (%)	t (%)	t (%)	%
	総資源化量	t (%)	t (%)	t (%)	%
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	t (%)	t (%)	t (%)	%

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合を記載。

※2 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、(実績の割合-現状の割合) / (目標の割合-現状の割合) を記載。

(生活排水処理)

指 標		現 状 (平成21年度)	目 標 (平成28年度) A	実 績 (平成28年度) B	実績 B/ 目標A※3
総人口		16,892	16,000	12,469	—
公共下水道	汚水衛生処理人口	8,425	8,490	5,554	65.4%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	49.9%	53.1%	44.5%	-1.7%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	3,241	3,170	1,482	46.8%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	19.2%	19.8%	11.9%	-12.2%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	2,239	2,390	2,528	105.8%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	13.3%	14.9%	20.3%	4.4%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	2,987	1,950	2,905	149.0%

※3 (実績の割合-現状の割合) / (目標の割合-現状の割合) を記載

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの						
処理体制の構築、変更に関するもの						
処理施設の整備に関するもの	1	浄化槽設置整備事業	山元町	生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止する	平成 23 年度～ 平成 27 年度	浄化槽設置基数 (181 基) 平成 23 年度 (38 基) 平成 24 年度 (50 基) 平成 25 年度 (51 基) 平成 26 年度 (14 基) 平成 27 年度 (28 基)
施設整備に係る計画支援に関するもの						
その他						

3 目標の達成状況に関する評価

山元町は東日本大震災により、沿岸部の汚水処理施設に甚大な被害を受けた。本町の東部地区には公共下水道、及び農業集落排水施設が集中していたことから、生活排水処理における公共下水道及び、集落排水施設等の汚水衛生処理率は目標値より下回ったものと考えられる。一方、山元町の西部地区については比較的浄化槽による汚水処理が多く、震災による被害も少なかったことから、汚水衛生処理率は目標値より5.4%高く計画目標を達成しており、当該事業は一定の成果を挙げている。しかしながら、未処理人口は、総人口に対しての割合が増加しており（H21:17.7%、H28:23.3%）、今後も当該事業の継続が必要である。

(都道府県知事の所見)

合併処理浄化槽等は目標を達成しているが、公共下水道事業及び集落排水施設等の実績は目標と大きく乖離しており、東日本大震災により生活排水処理状況が大きく変化したことが達成状況に影響を及ぼしたと思われる。

総人口の減少に伴い全体的な汚水衛生未処理人口の割合が増加していることから、沿岸部にも合併処理浄化槽等の整備を検討する等、今後も適宜計画を見直し、汚水衛生処理率の向上のため、引き続き公共下水道等の集合処理と浄化槽等の個別処理を適切に組み合わせることにより、未処理人口の減少に取り組まれない。